



やらまいか

例会日 / 毎週火曜日 12:30 例会場 / 豊川商工会議所 会長 / 夏目雅康 幹事 / 高桑 耐 会報委員長 / 鈴木啓仁
事務局 / 豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP / <http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：有意義で楽しいクラブ活動・例会を考えよう

本年度第35回 通算1197回 平成23年3月29日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	3/16 修正出席率
		58名	30名	58.8%	100%

ゲスト:(なし) ビジター:(なし)

会長挨拶及び報告

夏目雅康会長

こんにちは。
先週の創立
25周年例会
には、大勢の
皆さんにご出
席を頂きまし
てありがとうございます。
ごさいます。



自粛した形での開催でしたが、準備を頂きました皆さんありがとうございます。機会がありましたら反省会など行いたいと思います。

東日本大震災は、日が経てば経つほど犠牲者が増えて参ります。死者・行方不明者2万8千人を超える事態になっており、気持ちが病んでまいります。ですが、復興に向けて負けない日本として皆さん頑張り始めています。私たちの出来ることで協力していきたいと思ひます。

昨日、東三河分区の親睦ゴルフ大会で、我がクラブが団体優勝をしました。参加頂きました12名の皆さんありがとうございます。賞金にももらった2万円を義援金にして頂けるので、ご協力ありがとうございます。

本日は、市内6高校の皆さんご苦労さまです。平成22年度の活動の報告をして頂きます。よろしくお願ひします。

今週のボイスオブグットは「私たちは踏みなれた生活の軌道から放り出されると、もうダメだ、と思います。しかし、実際はそこには、ようやく新しい良いものが始まるものです。生命のある間は幸福があります。」トルストイのことです。

幹事報告

高桑 耐幹事

例会臨時変更のお知らせ
ロータリーの友からのお知らせ
小野会員の人命救助について

新世代委員会担当例会

杉浦委員長あいさつ

こんにちは。本年度2回目の新世代委員会例会を開催させていただきます。春休み中なのにも関わらず、各学校の生徒さん、付き添いの先生方のご出席ありがとうございます。回を重ねるごとに、ボランティア活動の内容も充実してきております。発表も大変上手に行って頂いております。今回、東北地方大震災が起こり、高校生の皆さんがいち早く、校内や街頭での募金活動をされております。皆さんの若い力は、これから復興していくにあたり大変熱い想いを届けてくれると思います。本日、それに関するいろいろな資料等のご準備をして頂いております。では、各学校の皆さんに発表して頂きます。ご静聴お願ひします。

豊川高校

こんにちは。
豊川高校生徒会です。本日は例会にお招き下さりありがとうございました。



ボランティア報告として、ダンス部は6月に豊川養護学校で、7月と8月に稲荷楽市でそれぞれステ

ージを行いました。チアリーディング部は10月に自衛隊創立60周年記念行事ステージ、12月に駅伝準優勝パレードを行いました。和太鼓部は6月に音羽の杜で演奏会、12月にゆうあいの里で知的障害者育成会と交流演奏会を行いました。ダンス部とチア部と和太鼓部が1月に桜木小学校の学校の日ステージを行いました。インターアクト部は、ボランティア活動を行う部活で月に一度はボランティア活動を行っています。養護施設での児童との交流会や養護老人ホームでお年寄りとの交流会を行っています。今日もボランティア活動をしています。吹奏楽部は12月に小坂井東保育園と睦美保育園でそれぞれクリスマスコンサートを開きました。生徒会執行部は12月に豊川駅の盗難防止のワーストランキング返上宣言に参加させて頂き、生徒全員に盗難防止の施錠の呼びかけをしました。

東日本大震災で亡くなられた人々の追悼式を全校で行いました。この趣旨は、大震災で亡くなられた方のご冥福を祈り、今も被災地で救助を待つ人々を思い、豊川高校の校訓である「和敬・信愛・利他・報恩」の利他の精神をもとに私たち高校生のできることを見直すことです。利他とは利己的欲望を制し、社会人類の福祉増進に力を尽くすという意味で、簡単に言うと自分ではなく、他人のために何かしようということです。全校で般若心経を読経しました。この式を通して被災者の方々の力に少しでもなれるようにと義援金募金を行いました。各家庭や先生、PTAの方々などに協力して頂きたくさんの義援金を集めることができました。3月19日と20日に豊橋駅で義援金募金活動を行い、先日の協力のお蔭で、現在までの募金活動で169万2,459円集まりました。豊橋駅で募金活動を行っていたところ、募金中に被災者の方と出会い、その方が「私は逃げてくるのができたけど、福島では復旧作業を頑張っているから、これからも頑張るね」と声を掛けてくれました。被災者の方と会うとは思っていなかったのでビックリしました。被災者の方から直接声を掛けられ、自分たちで始めた募金活動が被災者から感謝され、とてもうれしく思いました。

ボランティア活動のまとめは、各部活動のボランティア活動は、地域の人たちとの交流で演技演奏が特徴です。毎年恒例となっている活動も多いです。追悼式では、改めて命の尊さを感じ、いま自分たちにできることを精

いっぱい頑張ろうと思いました。そして、そのことをたくさんの方が思い、みんなで力を合わせて行ったボランティア活動ではたくさんの協力を得ることが出来ました。みんなが思う何かできないかを行動に移すことが大切だと思います。一人の力は小さいかもしれませんが、みんなでやれば大きな力になります。ボランティア活動を行うと達成感を感じ心が豊かになります。たくさんの方がボランティアに参加して、多くの方が利他の精神をもって活動をしてくれると良いと思います。

宝陵高校

私たちの学校では、本年度でボランティア部が廃止され、3年生の部員が卒業しました。その活動は生徒



会が受け継いでいくことになりました。この一年間のボランティア部の先輩の活動は、4月から5月にかけてと10月下旬に行ったあしなが育英会の募金活動、学校の近くにある障害者支援施設希全センターでの交流会、ひだまりの家での学童保育支援があります。

あしなが育英会募金活動は、ボランティア部の部員以外にも多くの生徒が参加しました。私も友達と一緒に参加して、豊橋駅東口で募金を呼びかけました。大勢の人が募金して下さい、とてもうれしかったです。

希全センターの交流会は、七夕祭りとして行われ、その時、本校の福祉科2年生が実習に来ていたので、より一層賑やかに楽しく過ごすことができました。

学童保育支援は、夏休みや春休みなど長期休暇の時に行われ、ひだまりの家の支援をします。ちいさな子どものお世話をしたり、一緒に遊んだりします。

ボランティア部の先輩たちが築いてきたこのような伝統を、私たち生徒会も受け継いでいきたいと思います。

生徒会の活動としては、エコキャップ運動と大震災の被災者への募金活動があります。エコキャップ運動は、ペットボトルのキャップをたくさん集めて、発展途上国の子どもたちのワクチン代にします。生徒一人一人の活

動が一つの大きな力になります。大震災の被災者への募金活動は、今月 11 日におこった地震や津波などの被災者の方々のための募金活動です。震災 4 日後の 3 月 15 日と 16 日に生徒会役員が生徒昇降口に立って募金を呼びかけました。多くの生徒、保護者の皆さん、先生方の協力があり、二日間で 13 万円を超える金額が集まりました。この義援金は、新聞社を通じて被災地に送りました。この募金活動だけに限らず、今後も私たち高校生にできる震災被災者への支援活動を考えていきたいと思えます。私たちが誰でも心の中に持っている、人の役にたきたい、困っている人や苦しんでいる人を助けたい、という想いを行動に移したとき、それがどんなに細やかなものでも確かなボランティアになると思えます。

豊川工業高校

私たち豊川工業ボランティア部はハッピースマイルボランティア、略して HSV をスローガンに活動



を行っています。毎月第 3 土曜日に赤塚山公園のぎょぎょランドにて少年少女発明クラブの主催するものづくり教室の指導スタッフを中心に、おいでん祭での衣類回収、ゆうあいの里での補助スタッフなどの地域へのボランティア活動への参加をしています。

ものづくり教室は、小学 4 年から 6 年生を対象にものづくりの楽しさを伝えるための教室です。主に季節に合わせたロボットをペットボトルや発泡スチロール、モーターなどを組み合わせて一緒に楽しく作っています。例えば 8 月 9 日には、ペットボトルを組み合わせて魚の形をした水に浮くロボットを作りました。12 月 1 日には、今年の干支のうさぎの形をしたロボットを作りました。

私たちの活動の中心のなっているのは、キャンドルナイトです。キャンドルナイトは、豊川市総合体育館で 2000 本ものキャンドルを並べて文字を描きます。今年度は出会いを大切にしてほしいという想いを込めて、出逢いの「逢」を作りました。その目的は、地域

の皆さんと協力して交流を深めることと、美しい自然を未来に残すことです。キャンドルナイトは屋外で行うので、キャンドルは風に当たっても消えないようにする工夫が必要で、キャンドルホルダーというキャンドルを囲うホルダーが必要になります。そのキャンドルホルダーには、マリンアートやペットボトルを使いました。

マリンアートは、海に落ちている貝やガラスを使い芸術を作り上げることです。砂浜には海水浴を楽しむ人のために足が傷つかないように貝やガラスをゴミとして捨ててしまいます。つまり海に落ちていてゴミになってしまう貝やガラスも作品として綺麗なものに生まれ変わります。そのマリンアートを地域の人々に作ってもらうことにより、交流につながり、何より自然を身近に感じ、自然の大切さも知って頂けると思い取り入れました。今年は八南小学校の子どもたちも作品を作ってくれました。

ペットボトルを使ったものは、ハートの形の紙に子供たちが絵を、一般の方々には色々な想いを書いて頂き、ペットボトルに紙を貼り、ペットボトルに明かりを灯しました。また光が丘高校の書道部の皆さんにも半紙に逢という文字を書いて頂き、一緒に明かりを灯しました。このペットボトルの主な目的は、多くの方々が想いを形にし、一つものを作り上げることによりみんなが繋がっていて一人では生きていけないと感じてほしいということです。

天平の里では、マリンアートをマリンアートインストラクターの人に教えてもらいながらガラスで作った地球のオブジェを明かりで灯して、地球や自然の大切さを改めて考えて欲しいということで展示しました。その周りには、子どもたちが貝で作ったマリンアートや、一般の人たちがガラスで作ったマリンアートを展示しました。

ふれあいフェスティバルでは、貝やガラスを使い、キーホルダーやストラップを地域の人たちに作ってもらい、楽しみながら自然を近くに感じてもらうことで自然を大切にしてもらえたら良いと思い貝やガラスを使いました。皆さん喜んでくれて、とても嬉しかったです。

国府高校

国府高校では、生徒会が中心となりボランティア活動を展開しています。11月に赤い羽根の共同募金を行



いました。2日間の募金活動をし、多くの方々の善意を頂くことが出来ました。この活動において福祉の精神が生徒の皆さんに根付いてもらえないか、多くの方がこの活動によって救われてほしいと思いました。後で報告をしますが、東日本大震災の義援金募金は、この時の活動から繋がっていると感じました。

12月に学校周辺の美化活動を行いました。サッカー部や弓道部、野球部など部活単位で多くの参加がみられました。この活動は、学校周辺のゴミを拾います。僕たちが普段通学に使わせてもらっている通学路への感謝の気持ちで活動することができました。普段気づかないところにもゴミ落ちていたので、このようなことがなくなるように気を使おうと思いました。

2月11日には、国府の市のボランティア活動をしました。毎年恒例になりつつある活動で、吹奏楽部など部活動単位で参加しています。ウォークラリーの補助や周辺の整理などをしました。地域と連動した素晴らしい活動は継続的に参加することにより一つの文化として、これからも意欲的に参加していきたいと思っています。

先日の東北地方を襲った地震は皆さんの記憶にも新しいと思います。亡くなられた方や行方不明者の方が2万人を超える大きな被害をもたらしました。さっそく生徒会でも何か出来ることはないかと思い緊急に募金活動を行いました。食料などの物資の到達が遅れていること、僕たちが出来ることは何かと考えて決定しました。残念ながら地震の募金とうたって、そのまま自分たちのお金にしてしまう心のない人たちが出現している中で、状況で、学校での募金活動は大きな役割を持たたと思います。募金の結果は2日間で42万801円も集まりました。このお金が少しでも被災者の方々への力になればと思っています。

これらのボランティア活動を通して多くの

事を学びました。その中で強く感じたことは、ボランティアは思い形であるということです。募金活動を含む慈善事業は活動する方の思いの結晶です。救いたいと思う心は誰にでもあります。それを思うだけでなく実践することはボランティアされる側は勿論のこと、する側にも意味を与えます。そして、これから僕たちの生活にもボランティアを必要とする環境が突然現れるかもしれません。そのような状況に立つ前にボランティアをすることの重要性を世界中の人たちが考え直し、ボランティアを実践してほしいと思います。

御津高校

ボランティア活動の報告をします。

最初に豊橋聾学校との共同絵画について報告します。5月に原画を



募集し、8月に聾学校の生徒を御津高校に招きました。ボランティア部員や有志の人たちで絵画の色付けをしました。養護学校の美術の先生も参加して下さいました。その後、聾学校の生徒と交流会をしました。世界に一つだけの花の歌の手話を教えてもらいました。完成した共同絵画は、御津高校の文化祭に掲示しました。絵を通じて、聾学校の生徒と仲良くなれたので、この関係をこれからも続けて行きたいと思っています。

次に、10月に行われた、ふれあいフェスティバルについて報告します。午前中は、障害者の方たちとぎょぎょランドに出掛け、午後からはウィズ豊川に戻り、疑似体験などのお手伝いをしました。手に牛乳パックと軍手をつけて動かしぬくさを体験したり、視野の狭さを体験できる眼鏡をかけて体験する疑似体験のお手伝いをしました。車いすの補助は、ちょっとした段差でも一回止まって声を掛けてあげないと乗っている人が前に転倒してしまうので大変でした。貴重な体験をすることが出来ました。

校内清掃活動について報告します。12月に生徒会主催で、学校周辺から国府駅までの通学路の清掃をしました。100名ぐらいの生徒が参加してくれました。生徒の中には、道だ

けでなくガードレールの奥まで入って頑張っている姿も見られました。他にも、たった一人で黙々と清掃している人もいました。

国府の市ウォークラリーについて報告します。チェックポイントなどに分かれて活動しました。チェックポイントではスタンプ押しをしました。他に、味噌田楽づくりのお手伝い、受付、子どもたちにクイズのヒントを出したり、並んでいる人の誘導などもやりました。この日は大雪で人が来るか心配でしたが、大勢の人が来てくれたので、この活動を通じて地域の人たちとの交流が出来たと思います。その他に善意フェスティバルや地域のボランティアや外国籍の小学校の学習指導などにも参加します。

また東北地方を襲った東北地方太平洋沖地震について生徒会で募金活動を行いました。5日間で約32万円が集まりました。

ボランティア部の活動は、昨年同様にペーパーフラワーを作りました。八重桜と菊を作り、八重桜は学校の会議室に飾り、菊は社会福祉センターに持って行きました。今はミニバラを製作中です。

今年度から新しく始めた活動は、ペットボトルの蓋をワクチンに変えて発展途上国の子どもたちの命を一人でも多く救うお手伝いとして始めました。また、プルタブも150万個で車いす一台になるので同時にやっています。クラスの人や先生にも協力してもらいたくさん集まりました。

全国生徒に世界のボランティアを知ってもらうために、ワールドボランティアの掲示を始めました。内容はユニセフについて書いています。また有名人のボランティアについて一人の人をアップしています。第1回はマドンナについて書きました。また何か新しいものということでちぎり絵を試みました。新年度の文化祭で展示したいと思っています。細かい部分まで貼らないといけないので大変ですが達成感があります。

小坂井高校

私たちは生徒たちに活動の参加を呼び掛けるために、校内放送やポスター、生徒会だよりの



などで知らせてきました。その宣伝のお蔭で、本年度の5月に豊橋動植物公園で行われた善意フェスティバルに22名の生徒が参加しました。この活動で福祉施設、福祉団体の人たちとともに模擬店、ゲームコーナー、野外ステージなどの見学をしたり、遊んだりしました。

小坂井高校の文化祭では、全校生徒がいるんな模擬店、パフォーマンスを行いました。その文化祭に小坂井町の「もくせいの花」の人たちにも参加して頂き、一緒にボランティア活動を行いました。

11月には赤い羽根共同募金を初めて行いました。クラスごとで集めたものとか校内に生徒会が設置したものと合計して42,640円になりました。この時のみんなの協力はすごいものでした。

12月には、クリーン作戦して清掃活動を行いました。この活動は生徒会活動の一環で、校内、通学路、学校周辺を清掃しました。この活動には、部活動を中心に430人の生徒が参加してくれました。みんな一生懸命に取り組んでくれたようで、たくさんゴミが集まりました。三学期には1、2年生の生徒が小坂井の保育園を訪問して園児と一緒に遊んだり、おやつを食べたり、2時間ほど幼児とふれあいボランティアを体験しました。

4月には、3月11日に起きた東北地方太平洋沖大震災により被災した人たちへの義援金の募金を行うことになっています。この募金会活動は、新生徒会役員に引き継がれますが、同じ人間として困っている人々を助けたいと思っていますので、この募金には率先して手伝っていきたいと思っています。そして、新生徒会には、新しいことに挑戦してもらいたいと思っています。小坂井高校には、ボランティア部がなく生徒会が中心となって活動しています。生徒会活動と共に行っているのです。そんなに様々な活動はできませんが、少しでも多くの人役に立ち、一人でも多くの笑顔を見られるように努力していきたいと思っています。

ニコニコボックス

大岩一仁会員 創立25周年ありがとう
杉浦節子会員 本日の例会を担当します

会報担当者：鈴木啓仁会員、土井昌司会員
このウィークリーは再生紙を使用しています。